公益財団法人

埼玉県埋蔵文化財調査事業団

事業案内

沿革と組織

埼玉県埋蔵文化財調査事業団は、県内における埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の啓発と普及を図り、もって本県文化の向上に寄与することを目的として昭和55年埼玉県の出資により設立されました。

埋蔵文化財の調査研究に基づいた発掘調査と整理・報告書の作成事業を基に、その成果の活用と普及活動を様々な事業を通して行っています。

沿　革

昭和５５年４月	埼玉県の出資により財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団設立。本部事務所を県パンビル（旧浦和市）内に置く。
昭和５７年４月	本部事務所を大宮市櫛引町（現さいたま市）に移転。
平成元年１０月	本部事務所を大里郡大里村（現熊谷市）に移転。
平成２年４月	埼玉県立埋蔵文化財センター設立に伴い、事務所の所在地を同センター内に移転。
平成３年８月	大宮整理事務所を設置。（平成１２年３月まで）
平成９年７月	第二収蔵庫が完成。
平成１４年４月	町制施行により大里町となる。
平成17年10月	一市二町（熊谷市・大里町・妻沼町）の合併により熊谷市となる。
平成２４年４月	公益財団法人に移行。

組　織

総　務　部	総務課（総務・財務）
	企画課（自主企画事業）
調　査　部	調査第一課（発掘調査）
	調査第二課（発掘調査）
	整理第一課（整理報告書刊行）
	整理第二課（整理報告書刊行）
資料活用部	資料保存課（資料保存・普及活用）
	資料活用課（資料整理・普及活用）

表紙の写真
背景・動物形土製品は加須市長竹（ながたけ）遺跡、
見学会写真は加須市旧利根川堤防跡（きゅうとねがわていぼうあと）、
調査風景は寄居町中平（なかだいら）遺跡、口琴は羽生市屋敷裏（やしきうら）遺跡出土。

事業の概要

土の中に眠る貴重な遺跡は、開発などによって失われる前に発掘調査を行い、図面や写真などの記録を整理した報告書として保存されます。また、その成果は遺跡見学会や集客施設での展示会、そして学校への出前授業など、さまざまな形で活用されています。

発掘調査

表土除去
↓
遺構確認
↓
遺構精査
↓
記録（実測・写真）

整理・報告書作成

水洗・注記　図面整理
↓
接合・復元　写真整理
↓
実測・拓本　執筆・編集

資料保存

金属製品

X線透視検査
↓
脱塩・錆取り
↓
合成樹脂含浸
↓
接合・復元

木製品

資料洗浄
↓
ＰＥＧ含浸
↓
真空凍結乾燥
↓
接合・復元

資料活用・普及

遺跡見学会の開催

体験発掘会の開催

教員研修の受入れ

職場研修の受入れ

古代から教室へのメッセージ事業

学習用キットの貸出し

ほるたま展の開催

発掘調査

▲遺構精査（寄居町中平（なかだいら）遺跡）

▲遺物の出土位置はそのままにして掘り下げます。

▲写真撮影に備えて遺構を清掃します。

▲発見された遺構・遺物を図面に記録します。（幸手市槇野地（まきのじきた）北遺跡）

▲住居跡の発掘調査

開発によって失われる遺跡の声に耳を傾け、正確な記録を残すため、より良い方法で発掘調査を行います。

整理・報告書刊行

▲パズルのように土器の接合作業を行います。

▲土器を接着して組み立てます。

▲足りないところは石膏をいれ復元します。

▲遺物を実測して図にします。

▲パソコンでデータ処理や遺構図の作成を行います。

発掘調査で記録された遺構のデータと発見されたさまざまな遺物を整理し、報告書として刊行します。

資料保存

▲木製品を専用の溶液（ＰＥＧ）に浸して保存に向けた処理をします。

▲鉄製品のＸ線撮影をして元の形を確認します。

▲Ｘ線を利用した分析装置で、さまざまな遺物の成分分析をします。

発見された遺物のうち、そのままでは朽ちてしまう木製品や金属製品の保存処理を行います。

▲学校での出前授業「古代から教室へのメッセージ」（越谷市北越谷小学校）

▲家族で発掘体験(桶川市諏訪野遺跡)

資料活用・普及

▲集客施設での展示(秩父矢尾百貨店)

▲施設見学(生きがい大学)

▲遺跡見学会の様子（久喜市栗橋宿西本陣跡）

▲越谷レイクタウン展（イオンレイクタウン）

▲県民の日 まいぶんフェスタ（本部）

埋蔵文化財の大切さや私たちの仕事を広く理解していただくため、見学会や発掘体験などのイベントを行っています。学校では、子供たちが実物にふれながら学ぶ授業や体験学習を行っています。

発掘調査の実績

事業団は、平成28年で設立37年目を迎えました。その間、発掘した遺跡の調査件数は976件、面積は539万㎡に及びます。調査の成果は地域の歴史を解明するうえで、大いに役立っています。ここではその一部をご紹介します。

旧石器時代

最古の狩人

北坂（きたさか）遺跡（深谷市）

寄居 PA スマートインターチェンジ建設事業：H27

出土した旧石器（約 30000 年前）

縄文時代

水辺のくらし（低湿地遺跡）

大木戸（おおきど）遺跡（さいたま市）

大宮西部特定土地区画整理事業：H27 ～ H28

黒漆で飾られた弓

深鉢

高麗石器時代住居跡遺跡（こまいせっきじだいじゅうきょあと）（日高市）

国道 299 号道路改築事業：H23

中部地方系の中期土器
（約 5000 年前）

後・晩期の大規模環状盛土遺構

長竹（ながたけ）遺跡（加須市）

利根川堤防強化対策工事事業：H22 ～ 26

一辺約 12mの巨大住居跡

弥生時代

ムラオサの眠る丘

大木戸（おおきど）遺跡（さいたま市）

大宮西部特定土地区画整理事業：H20 ～ H21

墳丘が残る方形周溝墓（権力者の墓）

住居跡から出土した
後期の赤彩土器
（約 1800 年前）

古墳時代

古墳時代前期の豪族居宅？

槙野地北遺跡（幸手市） 江戸川堤防強化対策事業：H25 ～ 26

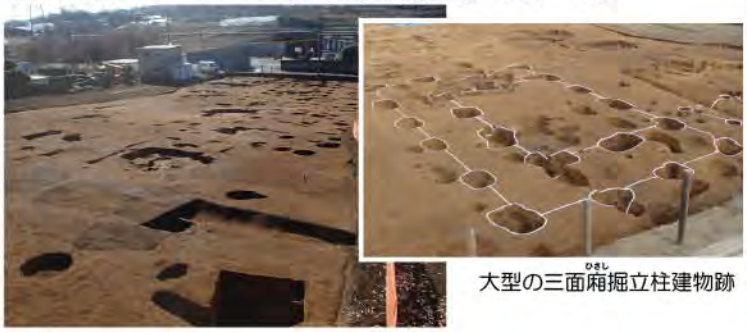
一辺約 10mの巨大竪穴住居跡

奈良・平安

那珂郡・榛沢郡？郡境のムラ

中平遺跡（寄居町）

寄居 PA スマートインターチェンジ建設事業：H27 ～ 28



大型の三面廂掘立柱建物跡

中 近 世

中近世の利根川旧堤防跡

旧利根川堤防跡（加須市） 利根川堤防強化対策事業：H27 ～ 28

堤防下から出土した
中世のかわらけ

堤防断面（芯に砂を積んでいる）

近 世

日光道中栗橋宿と脇本陣跡

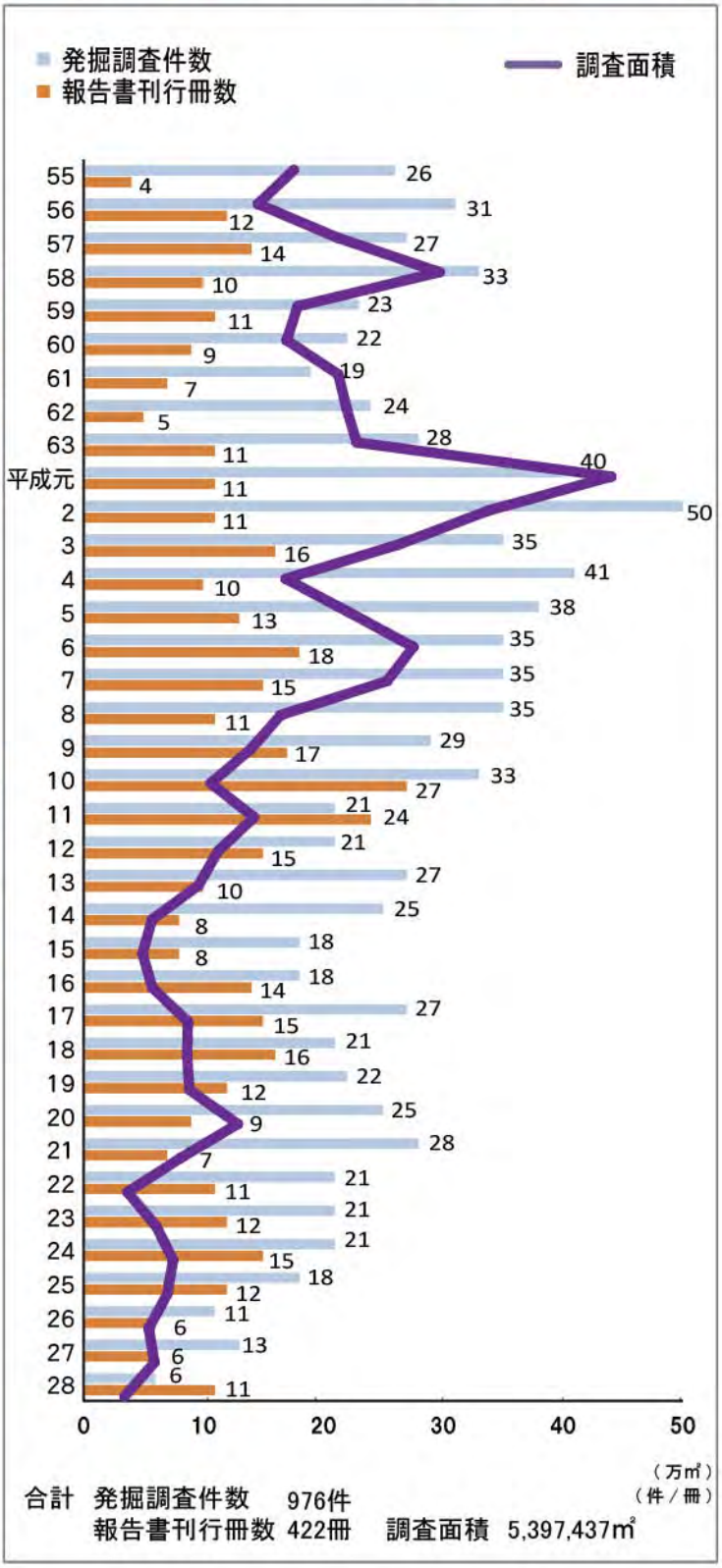
栗橋宿西本陣跡（久喜市） 利根川堤防強化対策事業：H28 ～

西本陣跡から発見された池の跡

古墳時代前期の住居跡と墓域（方形周溝墓）

小林八束 1 遺跡（久喜市）

小林調節池建設事業：H25 ～



合計　発掘調査件数　976件
報告書刊行冊数 422冊　調査面積 5,397,437㎡

発見された遺物

事業団が遺跡で発掘した遺物は 40 万点を超えており、ここに紹介したのはその一部です。遺物のほとんどは埼玉県文化財収蔵施設に保管され、県内外の博物館にも貸出しています。

古瀬戸の瓶子（上里町大光寺裏遺跡）

青磁の香炉
（上里町大光寺裏遺跡）

金の宝塔
（美里町広木上宿遺跡）

花瓶（東松山市反町遺跡）

鬼瓦（上里町中堀遺跡）

緑釉の輪花埦
（上里町中堀遺跡）

漆紙文書（上里町中堀遺跡）

須恵器獣脚硯（すずり）
（寄居町末野遺跡）

黒漆塗りの壺鐙
（熊谷市下田町遺跡）

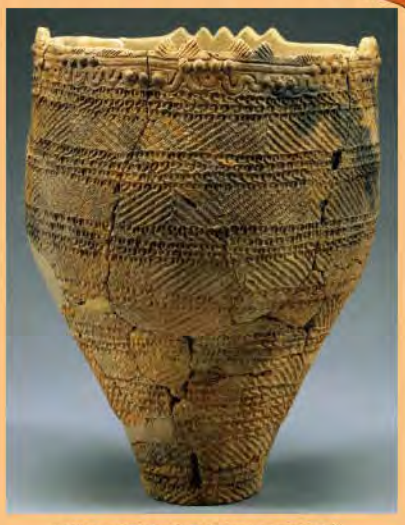
土偶（鴻巣市赤城遺跡）

動物形土製品（蓮田市久台遺跡）

ヒスイの玉（川口市石神貝塚）

犬形土製品（加須市長竹遺跡）

中期の深鉢（日高市宿東遺跡）


前期の深鉢（伊奈町谷畑遺跡）

早期の尖底土器（深谷市宮林遺跡）

明治維新

染付碗
（鴻巣市新屋敷遺跡）

漆椀（きさいじょう）
（久喜市私市城武家屋敷跡）

犬（ちん）の置物
（川越市川越城跡）

江戸幕府が開かれる

応仁の乱がおこる

室町幕府が開かれる

鎌倉幕府が開かれる

武蔵七党が活躍する

平安京に都をうつす

武蔵国分寺が建てられる

平城京に都をうつす

大化の改新が行われる

武蔵国造の争いがおこる

埼玉稲荷山古墳がつくられる

前方後円墳が盛んにつくられる

大和政権が成り立つ

卑弥呼が中国に使者を送る

弥生文化が関東に広まる

稲作りがはじまる

馬鐸（ばたく）
（深谷市東川端遺跡）

須恵器のはそう
（鴻巣市新屋敷遺跡）

馬形埴輪
（熊谷市北島遺跡）

木の道具と容器（行田市小敷田遺跡）

銅釧（どうくしろ）(腕輪)
（朝霞市宮台宮原遺跡）

後期の壺（東松山市反町遺跡）

磨製石斧（ませいせきふ）（熊谷市北島遺跡）

後期の壺（さいたま市中里前原遺跡）

大規模な集落がつくられる

貝塚が盛んにつくられる

土器と弓矢が発明される

県内最古級の石斧（寄居町末野遺跡）

ヤリの先につけた石器（狭山市西久保遺跡）

日本列島に人が住みはじめる

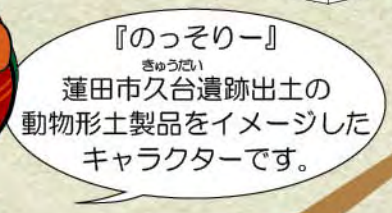
埼玉県文化財収蔵施設
施設案内

事業団が本部をおく埼玉県文化財収蔵施設は、土日祝祭日、年末年始を除き、一般に公開しています。

第二収蔵庫

収蔵庫（2F）

収蔵庫（1F）



研修室

研修や講座に利用されます。

資料室

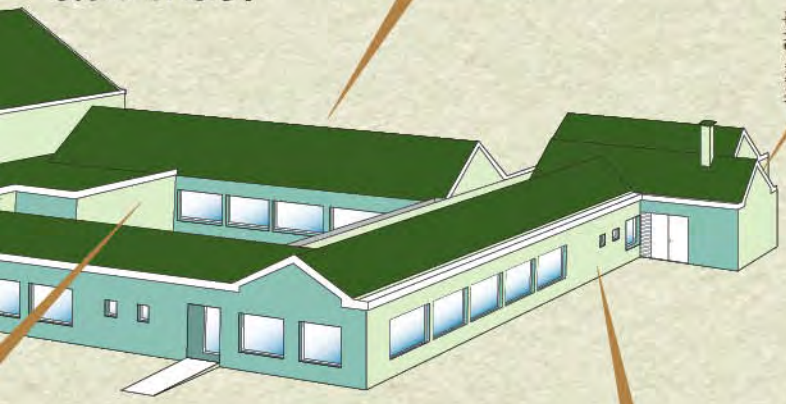
図書室

たくさんの遺物を
収蔵しています。

資料の一部を
展示しています。

整理室

整理作業の様子をご覧いただけます。



保存処理室

木器の保存処理をしています。

図書はご要望に応じてご利用になれます。

スタジオ

公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1
TEL (0493) 39-3955 FAX (0493) 39-3579
HPアドレスhttp://www.saimaibun.or.jp

Public Interest Incorporated Foundation.

Saitama Cultural Deposits Research Corporation.